

「参加体験型環境学習アクティビティの進め方」

日程：2006年2月25日（土）

時間：13:00-16:00（3時間）

人数：16人（5/6人×3班）

場所：三重県環境学習情報センター

ねらい：

○参加体験型の環境学習アクティビティを実際に指導することを通じて、進め方やまとめ方のスキル・アップを図る。

時間	内容	留意点・準備等
13:00-13:10 (10分)	【本日の活動説明】 【班分け】5/6人×3班	
13:10-13:40 (30分)	【役割分担】 ○各班で、アクティビティ進行マニュアルを読んで、役割分担と進め方の相談をする。	アクティビティ進行マニュアル
13:40-15:40 (120分)	【アクティビティ指導実践】 ○1班30分以内（+コメント10分）で3班が行う。 ①「動物交差点」 ②「オー・ディア」 ③「あなたが欲しいもの」 ○アクティビティの指導（30分以内） ○コメントカード記入（5分） ○コメント（5分）	コメントカード、各アクティビティに必要な物品 状況を見ながら、適宜休憩を入れる。
15:40-16:00 (20分)	【総括&質疑】	コメントカードをコピーする

指導実践用アクティビティ（各班いずれか1つを指導する）

初級編）動物交差点（ネイチャーゲーム）（物品：動物カード、クリップ）

中級編）オー・ディア（プロジェクト・ワイルド）（物品：ホワイトボード or 黒板）

上級編）あなたが欲しいもの（物品：模造紙、サインペン）

初級編) 動物交差点 (ネイチャーゲーム)

ねらい

背中動物カードを当てるゲームを通じて、動物の特徴や分類の仕方を学ぶ。

役割分担

- (a) 全体の進行をする人：1人
- (b) やり方の説明をする人：1人
- (c) デモンストレーションをする人：2人
- (d) 終わってからのまとめをする人：1人

進め方

- (1) 円形になって座る (イス使用)。
- (2) デモンストレーション役の2人が、実際にやってみながら、やり方を説明する。
 - ①これからみなさんにある動物になってもらいます。動物になるといっても「変身」するわけではなく、背中に動物のカードを付けてもらいます。背中に付けるので、自分はどんな動物になっているかわかりません。質問をしながら自分がどんな動物になっているかを当てる活動を行います。どんな風にやるかをやってみますので、見て下さい。
(デモンストレーション役登場、以下はデモンストレーション役にやってもらいながら説明)
 - ②2人組を作ってもらいます。まずは握手します。「よろしくお願いします」
 - ③お互いに相手に背中を見せて、「私はこういうものです」と言います。
 - ④どちらが先でもかまわないので、相手の人に何か1つ質問します。例えば、「私の足は何本ですか?」というように質問して、パートナーに答えてもらいます。
 - ⑤一つずつ質問し終えたら、「ありがとうございました」と握手をして、別の人と2人組になります。
 - ⑥自分が何の動物になっているかがわかるまで、上の②～⑤を繰り返します。
 - ⑦自分が何の動物かがわかったら、進行役のところへ行って、「私は〇〇です」と告げます。
 - ⑧正解なら背中動物カードをはずして、胸に付けます。
 - ⑨正解した人は、まだ正解していない人と2人組になって質問に答えてあげてください。

※：もし質問の解答が分からない場合は、「ごめんなさい、わかりません」と言います。
- (3) どのような質問をすればよいか、質問の例をいくつか説明する。

例) 足の数、卵で生まれるか子どもで生まれるか、草食か肉食か雑食か、身体大きさや色、住んでいるところ、飛ぶか飛ばないか、鳴くか鳴かないか、泳ぐか泳がないか、……
- (4) 参加者の背中に動物カードを付け、全員に付け終わったら立ち上げてもらって、アクティビティを開始する。
- (5) 全員が正解するまで続ける。
- (6) 全員が正解したら最初の形に座って、動物の特徴や分類の仕方を説明する。
- (7) やって見た感想などを聞く。

中級編) オー・ディア (プロジェクト・ワイルド)

ねらい

動物(シカ)の生息(個体)数は一定ではなく、食料、水などの要因で常に変化しつつ、バランスを保っていることを学ぶ。

役割分担

- (a) 全体の進行をする人：1人
- (b) やり方の説明をする人(デモンストレーション)：2人
- (c) 人数を数える人：1人
- (d) グラフを書く人：1人
- (e) 終わってからのまとめをする人：1人

進め方

- (1) 参加者を「シカ」と「エサ」の2グループに分け、2列に並ばせる。
- (2) 「シカ」が生きていく上で必要な要素として、「住みか」「飲み物(水)」「食べ物」の3つの要素を用いることを説明する。
- (3) 3つの要素のポーズを説明し、練習する。(デモンストレーション役)
 - 住みか：両手を頭の上上げて三角を作る(屋根のポーズ)
 - 飲み物：グラスを持ったつもりで片手を口のところに持って行き水を飲む形(グイッとポーズ)
 - 食べ物：両手でお腹を押さえる(お腹すいた～のポーズ)
- (4) ルールを説明する。(デモンストレーション役)
 - ①(どちらかの列を指しながら)こちら側が「シカ」サイド、反対側が「エサ」サイドです。
 - ②今は向かい合っていますが、これからお互いに反対を向いてもらいます。そして、合図をしたら(例えば「ポーズ」と声をかける)、今の3つのポーズのどれか一つをやってください。
 - ③進行役がもう一度合図をしたら(例えば「ハイ」と声をかける)、そのポーズのまま内側を向いてください。
 - ④「エサ」サイドの人はポーズをしたまま動かないでください。「シカ」サイドの人は動いて、自分と同じポーズをしている「エサ」を1人捕まえて、「シカ」サイドに連れてきてください。つまり「エサを食べる」ということですが、あまり思いっきり走らなくてかまいません。
 - ⑤「エサ」を食べられなかった「シカ」は死ぬので、「エサ」サイドへ移動します。「シカ」に食べられなかった「エサ」は、続けて「エサ」のままです。
 - ⑥移動が終わったら2列に並び「シカ」と「エサ」の人数を数えます。
- (5) 一度練習をしたのち、②～⑥を10回程度(時間に合わせて)繰り返す。毎回の「シカ」と「エサ」の数(人数)を数えて、ホワイトボードにグラフを書く。
- (6) ホワイトボードのグラフを見ながら、個体数の変化や自然界のバランスについて説明する。
- (7) やって見た感想などを聞く。

上級編) あなたが欲しいもの

ねらい

「欲しいもの」には、「ニーズ」(生きていく上で必要なもの)と「Wants (ウォンツ)」(欲求)の2つの種類があることを知り、自分自身の欲望や価値観を見直す。

役割分担

- (a) 全体の進行をする人：1人
- (b) やり方の説明をする人：2人
- (c) グループファシリテーター：2人
- (d) 終わってからのまとめをする人：1人

進め方

- (1) 各班で机をだし、そのまわりに座る。
- (2) 各班に模造紙1枚と、各自に色サインペンを1本ずつ配る。(一人一人違う色にする)
- (3) やり方の説明その1
 - ①今、あなたが欲しいな～と思うものをできるだけたくさん思い浮かべて下さい。
 - ②思い浮かべたものをどんどん模造紙に書いてもらいます。文字で書いてかまいません。
 - ③模造紙を真ん中において、模造紙に書く向きは、自分が書きやすい向きでかまいません。サインペンの太い方を使って書いて下さい。あまり小さな文字はやめましょう。
 - ④5分間くらいでたくさん書いて下さい。
- (4) 各自、模造紙に書き込む。5分程度の時間が経ったら終了。
- (5) 各班で、それぞれがどのようなことを書いたかを見る。
- (6) やり方の説明その2
 - ⑤今、模造紙に書いた「欲しいもの」には、大きく2つの種類があります。
 - ⑥一つは生きていく上で必要なもの(ニーズ)、もう一つはあなた自身の欲求や欲望(ウォンツ)です。
 - ⑦各班で話し合っ、ニーズだと思うものは「丸」で囲み、ウォンツだと思うものは「四角」で囲んで下さい。今、模造紙に書いてあるもの全部をどちらかに分類して、「丸」か「四角」で囲んでください。(10～15分程度)
- (7) 各班のニーズの数とウォンツの数をホワイトボードに書き、どのようなニーズ・ウォンツがあったかを発表してもらおう。
- (8) 日本は先進国なので、生きていく上で最低必要なベーシックニーズが満たされている状況にある。各班で出てこなかったベーシックニーズをいくつか挙げながら、欲望や価値観に関して説明する。
- (9) やって見た感想などを聞く。